

# 課金モデル・課金プラン・請求サイクル・売上サイクルの違いについて

Bplatsでは柔軟な課金体系のサービス管理を実現の上、設定の煩雑さを解消するため商品と課金のデータを分けて登録します。

そのため、商品を作成する前に課金データとして「課金/請求のルール」をあらかじめ設定・作成する必要があります。

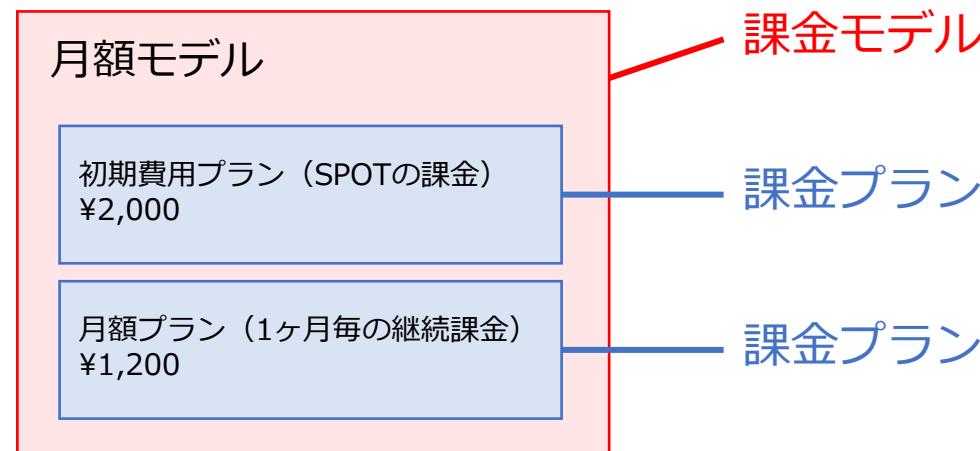
課金に係る各データの名称が「課金モデル」「課金プラン」「請求サイクル」「売上サイクル」と、似たような  
名称・設定内容のためどのように設定すればよいかお問い合わせをいただくことが多い設定箇所になります。

本資料では、①課金モデルと課金プラン、②課金プランと請求サイクル、③請求サイクルと売上サイクルに分けて、それぞれの役割と関係性をご紹介します。

## ①課金モデルと課金プランの関係

課金プラン：「月額」「年額」「初期費用」などの課金単位の設定

課金モデル：上記課金プランを複数まとめる



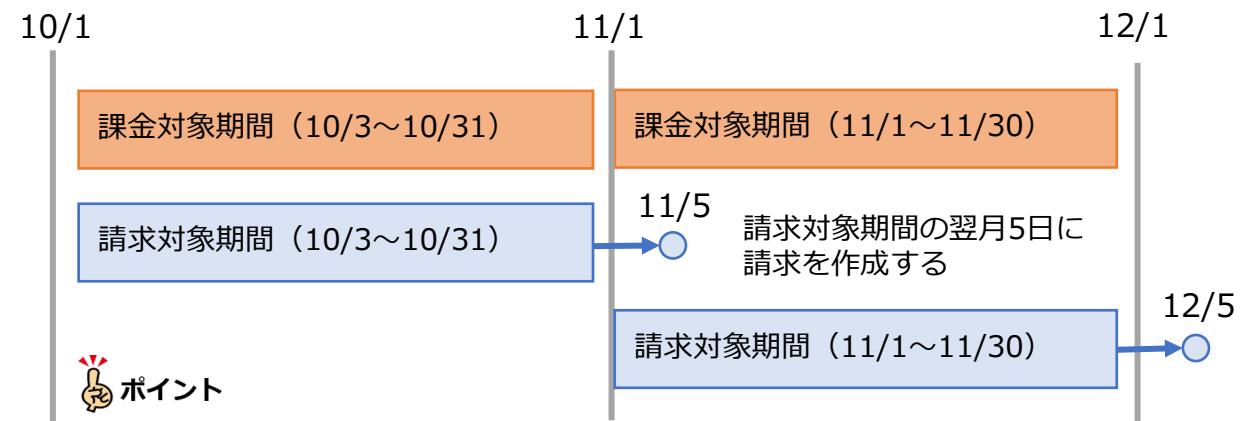
上記の図の例は、「初期費用プラン」「月額プラン」の課金プランがあり、  
「月額モデル」の課金モデルでひとつにまとめています。  
商品登録する際は、この課金モデルを紐づけることになります。

初期費用がなく月額プランだけの課金形態の場合でも、課金モデルに課金  
プランを登録する必要があります。

## ②課金プランと請求サイクルの関係

課金プランと請求サイクルには、それぞれ「課金対象期間」と「請求対象期間」  
があり、似たような名称で混乱してしまうかもしれません。

課金プランは「月額」「年額」「初期費用」などの課金単位を表し、  
請求サイクルは課金に対していつ請求を作成するかというサイクルを表します。  
請求サイクルは、課金データを元に請求データを作成するため、「課金データを  
集計して請求作成をするタイミングを設定するもの」となります

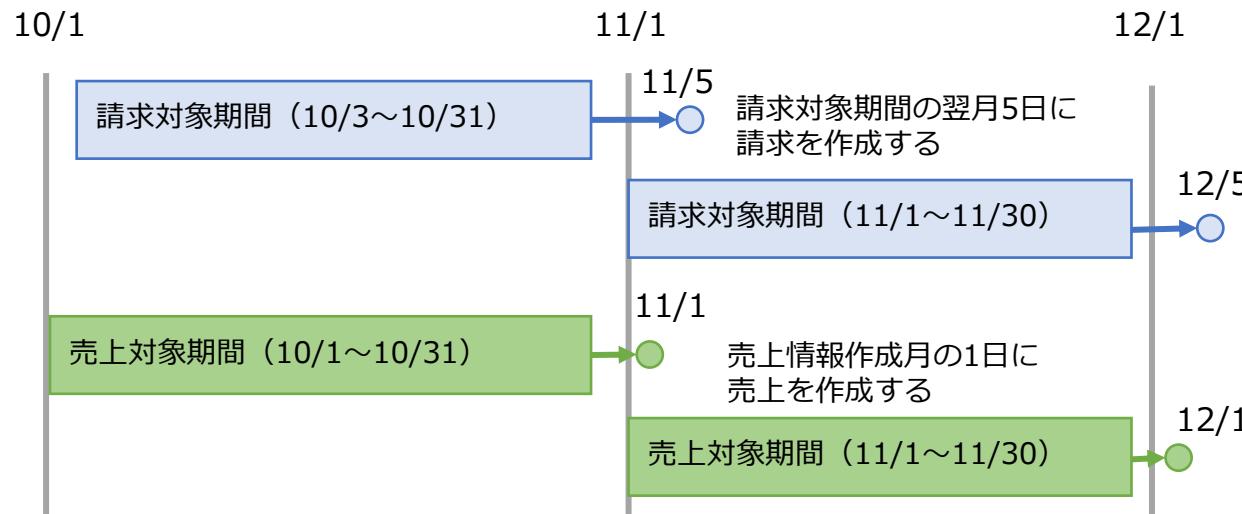


多くのケースは上記図のような「課金対象期間」と「請求対象期間」が一緒になること  
が多いです。

それ以外のケースでは、例えば「課金対象期間」を1ヶ月毎・「請求対象期間」を1年  
毎とすると、月単位の課金を1年にまとめて請求するという設定ができます。  
このような場合には「課金」「請求」対象期間が異なる設定となります。

### ③請求サイクルと売上サイクルの違い

請求サイクルと売上サイクルは似たような表現ですが、利用用途が異なります。  
請求サイクルは、**お客様向けの請求データの作成サイクル**に対して、  
売上サイクルは、**管理者向けに月々の売上情報を確認するための売上データの作成サイクル**を表しています。



#### POINT

デフォルトで登録されている売上サイクルは下記の設定となっています。  
基本的にはデフォルトの売上サイクルを利用する形で問題ありません。

-----  
売上サイクル : 1ヶ月毎  
売上情報作成日 : 売上情報作成月の1日  
売上サイクル開始日 : 初回課金月の1ヶ月前 0ヶ月先の売上まで計算する  
-----

上記の設定は、図の通り、売上対象期間（10月）に対して、  
翌月（=売上情報作成月）の1日（11月1日）に**課金データを集計して売上データを作成**します。

売上サイクルは、課金データを元に作成するため、**「課金データを集計して売上データを作成するタイミングを設定するもの」**となります。

## 参考例

### 課金モデル

①初期費用 + 月額

#### 月額モデル

初期費用プラン (SPOTの課金)  
¥2,000  
・請求サイクル (翌月5日作成)  
・売上サイクル (デフォルト)

月額プラン (1ヶ月毎の継続課金)  
¥1,200  
・請求サイクル (翌月5日作成)  
・売上サイクル (デフォルト)

#### 課金プラン

②月額

#### 月額モデル

月額プラン (1ヶ月毎の継続課金)  
¥1,200  
・請求サイクル (当月1日作成)  
・売上サイクル (デフォルト)

#### 課金プラン

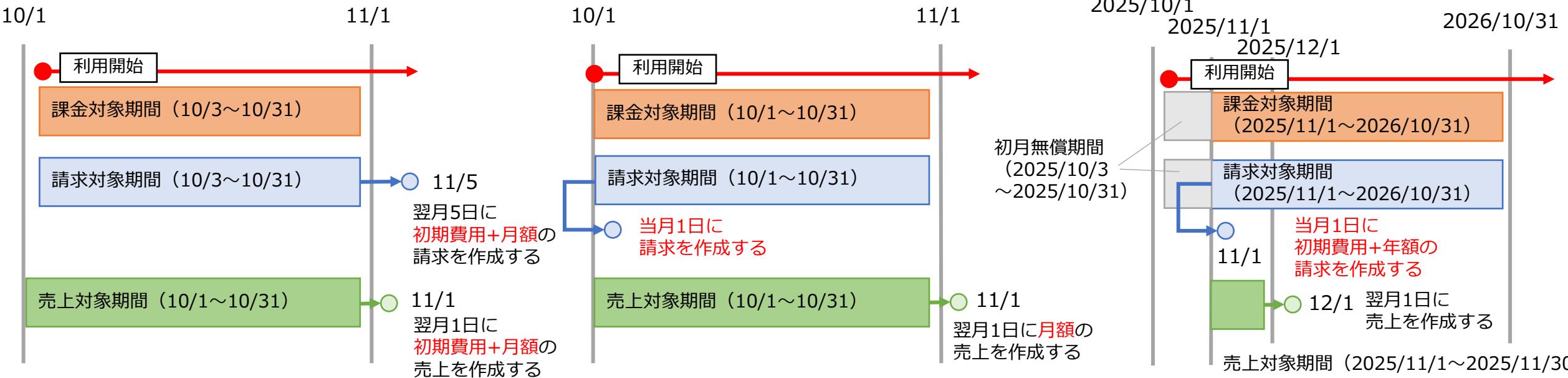
③初期費用

+ 年額 (初月無償)

#### 年額モデル

初期費用プラン (SPOTの課金)  
¥2,000  
・請求サイクル (当月1日作成)  
・売上サイクル (デフォルト)

年額プラン (12ヶ月毎の継続課金)  
¥1,200  
・請求サイクル (当月1日作成)  
・売上サイクル (デフォルト)



本資料に記載の内容は2025年11月時点の仕様となります。